

取扱説明書

トランスフォーマブル  TM  
**ビートル**  
PRESENTER MOUSE



## 法律上の規制

本製品はFCC規制のパート15に適合しています。取扱には以下の2つの条件を前提としています。

- (1) 本製品は有害な混信をひきおこすことはありません、但し
- (2) 本製品は予想外の動きを引き起こす可能性のある外部からの混信電波を受信することがあります。

## FCC規制に関する保証

本製品はFCC規制のパート15におけるデジタルデバイス-クラスBの規定範囲に適合していることが証明されています。この規定は電波機器が居住区域で使用されるとき有害な混信に対して合理的な保護をする設計基準を適用範囲としています。本製品は電波を発信する機器ですが取扱説明書に記載の使用方法以外の取扱、操作を行うと他の電波機器に対して混信を起こすことがあります。また、特定の環境下において混信が発生することが無いことを保証するものでもありません。もしラジオやテレビに干渉が発生したと思われる場合は本製品のスイッチを入れたり、切ったりして確かめてください。もし本製品の電波の影響によることが想定された場合は次の方法で干渉を避けるようにしてください。

- ・他の機器のアンテナの向き、もしくは方向を変える。
- ・本製品との距離をより遠くに離す。
- ・ラジオやテレビ等の機器のディーラー、もしくはラジオ/テレビ技術者に相談する。

**注意!** 製造元の許可無く本製品を修理もしくは改造を行った場合は製品保証の対象外となります。延長ケーブルはご使用にならないでください。電波障害をひき起こす可能性があります。

- ・本製品は日本国内における電波法の特定小電力無線設備の認証（\* 証明規則第2条第1項第19号の無線設備）を受けています。
- \* 本資料に記載されている商標名及び登録商標の使用権はそれぞれ個々の所有者に帰属します。
- \* 本製品の機能、仕様、外観は改良のため予告無く変更することがありますが、ご了承ください。

©2008 SMK-LINK Electronics, Inc.

## 製品概要及び特徴

- ▶ 本製品はマウスとレーザーポインター付プレゼンテーションリモコンの機能を併せ持つユニークな製品です。
- ▶ 充電方式なので電池交換は不要です。  
専用ケーブルでUSBポートから充電できます。
- ▶ マウス操作、リモコン操作はRF無線によるワイアレス方式です。
- ▶ レシーバーは製品内部に収納できますので持ち運び移動に便利です。

## 仕様概要

- マウス制御方式 : オプティカル・マウス
- ワイヤレス制御距離 : 最大10m
- レーザーポインター : 赤色
- 電 源\* 充電方式 : 単4型NI-MH(ニッケル-水素)  
2次乾電池×2本

## 動作環境

- USBポートが2ポート以上あるパソコン

- ①レシーバー用、②本体充電用

\* 充電時にレシーバーをUSBポートから抜いて充電用ケーブルと差し替えて使用すると、1ポートでも使用可能です。

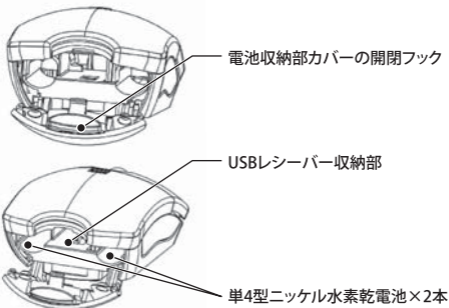
- オペレーティング・システム: Windows 2000, XP, Vista.  
Macintosh OS X 及び上位OS。

\* Macintosh: プレゼンテーション・モードでのご使用時はWindows OSにおけるF5/Esc機能(スライドショーの開始・解除)機能は無効です。  
また、アプリケーション・スイッチ機能(Alt+Tab key)は、MacintoshにはAltキーが無いため無効です。

## 同梱品

- 本体
- USBレシーバー\* 本体の電池収納部に収納
- USB充電用専用ケーブル
- 2×単4型 ニッケル-水素二次乾電池\* 充電タイプ
- 取扱説明書
- キャリングケース

## 電池のセット



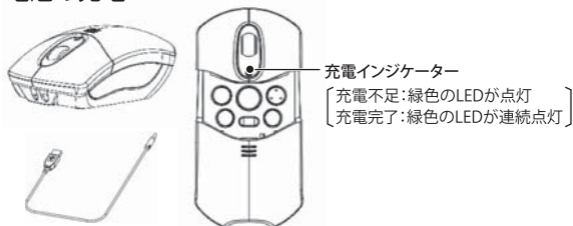
- 本体端面にある電池収納部カバーのフックを下に押し下げてカバーを開けてください。  
USBレシーバーも電池収納部に収納されています。  
本商品を持運ぶときはレシーバーをこの電池収納部にセットしていただければ紛失いたしません。
- 同梱品の電池2本を電池スロットにセットしてください。  
このとき必ず電池の(+)、(-)の向きをご確認の上セットしてください。
- 電池のセット後、電池収納カバーを必ずきちんと閉めてください。



### 注意!

- 一般のマンガン乾電池およびアルカリ乾電池は決してご使用にならないでください。本商品に付属の充電型ニッケル水素乾電池をご使用ください。
- 交換が必要なときは、必ず単4型充電型ニッケル-水素乾電池を使用してください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜてご使用にならないでください。

## 電池の充電



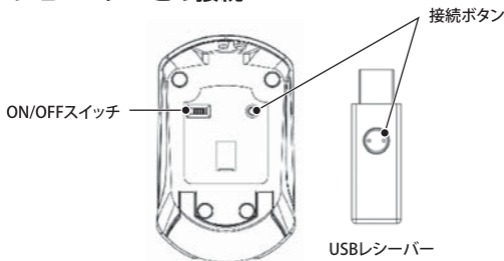
- 初めてご使用になるときは電池をフル充電してお使いください。尚、充電中でもマウス機能は使用可能です。
- 付属の充電用ケーブルの片側をUSBのポートに差込み、反対側を本体の先端にあるソケットに差し込んでください。
- 本体の緑色LEDが点滅しているときは充電中です。連続点灯になると充電完了です。
- 最初にご使用のとき電池は未充電です。そのときの充電時間は約6時間で約20時間使用可能です。その後の充電時間は電池の残量によります。
- 本製品はパワーセーブモード機能を持っています。約10分間ボタン操作を行わないと電源は自動的にシャットダウンされます。(※スリープ・モード) その後操作を再開するときはマウスの右ボタンか左ボタンをクリックしてください。
- 本体とコンピューターを付属のケーブルで接続してください。  
\* 電池がフル充電状態ではなく、充電中でも操作可能です。その際は本体の裏側にあるPowerのスライド・スイッチをONの位置にセットしてください。



**注意!**

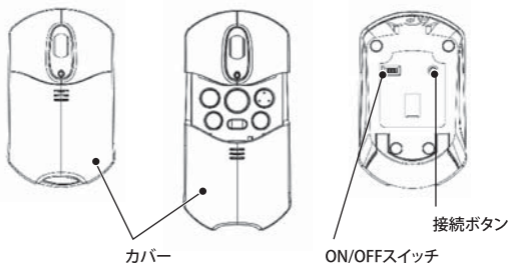
電池を充電するときはコンピューターの“コントロール・パネル”の“電源管理オプション”のプロパティから電源の自動休止機能を無効にしてください。

## コンピューターとの接続



- 本体の電池収納部にセットされているUSBレシーバーを抜き出して電池収納部のカバーをかならずきちんと閉めてください。
- USBレシーバーをコンピューターのUSBポートに挿入してください。
- 初めてご使用のときはコンピューターが“新しいハードウェア”の認識処理を行います。この処理が終わるまでしばらくおまちください。この間、特別な操作は不要です。
- レシーバーと本体との通信のためのチャンネル・コードはあらかじめ工場出荷時に設定済みです。
- 万一何らかの理由でマウス機能が操作できなくなったとき、例えば、カーソルが動かない、極端に遅いなどの場合、他の電波機器による干渉によることが考えられます。このようなときはコンピューターのUSBポートに挿入している状態でUSBレシーバーの接続ボタンを押し、次に本体の底にある接続ボタンを押してください。これにより干渉電波とは異なるチャンネルを設定できます。一度で解消できない場合はこの操作を繰り返して行ってください。

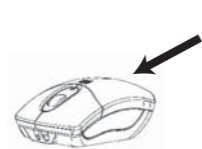
## 使用方法



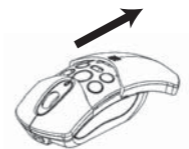
### マウスとしての使用方法

—上図のスライドカバーはきちんと閉じておいてください。

- マウス機能は以下の3つの機能です。
  1. 右クリック
  2. 左クリック
  3. スクロール及び連続スクロール
- マウス機能は電池の消費を減らすため、約10分間使用しないと自動的にスリープ・モードになります。どこかのボタンをクリックすることにより再起動します。



マウス・モード  
(スライドカバー:閉)

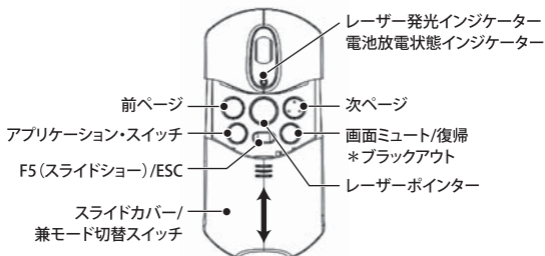


プレゼンリモコン・モード  
(スライドカバー:開)

## プレゼンリモコンとしての使用方法

一左図のスライドカバーを開きます。

- 上カバーの上部を両手の親指で軽く押さえながら、上カバーが止まるまでマウスの後端側へ滑らせて開けてください。  
決してそれ以上無理にずらさないでください。
- 上カバーを開くと自動的に開いたことを検知してプレゼンリモコン・モードになります。  
この時点でマウスの光学センサーはOFFになり、マウス機能は働かなくなります。  
マウス機能に戻りたいときは上カバーをスライドして閉じてください。
- プレゼンリモコンとしての機能はレーザーポインター機能の他、5つの機能を持っています。  
尚、マッキントッシュ・パソコンの場合は以下のようになります。  
\*マック OS: ウィンドウズOSの場合の、“F5キー”(スライドショーへの切替)と“アプリケーション切替のための(Alt+Tab)機能はサポートしていません。(MacにはAltキーがありません)



## 操作のヒントとトラブルシューティング

- ご使用になる前に本体の底面にあるスイッチがONになっていることをご確認ください。
- 本製品を持運ぶときは電池の消耗を避けるために、このスイッチをOFFにしてください。
- 長時間で使用にならないときは電池を取り出しておいてください。
- オプティカルマウスの使用は、無反射で白色ではない表面状態が最適です。
- カーソルの動きが遅い場合はマウスパッドのご使用をお試しください。  
\* コンピューターのコントロール・パネルからマウスのプロパティの設定についてもご確認ください。
- マウスカーソルの動きが不安定なときは電池の充電状態を表示するLEDインジケータをチェックしてください。もし緑色LEDが点滅状態であれば充電不足です。「電池の充電」の項を参考にしてください。  
またレシーバーのUSBポートへの装着がゆるんでいることも考えられます。再挿入してご確認ください。
- 本製品を持運ぶときはスライドカバーがきちんと閉められていることをご確認ください。  
またUSBレシーバーを忘れずにレシーバー収納部にセットして持運びください。

## 保証

本製品の無償保証期間はご購入のときから1年間です。但し、電池を除きます。本製品の取扱・操作に関して、本マニュアルに記載の内容に従った通常の取扱いにおける故障時に限ります。保障期間中において修理、もしくは交換のため故障品をお送りいただくときは、必ず購入時の領収書等を添えてご返送ください。もしくはご購入時から1ヶ月以内に本マニュアルに記載の登録者カードをお送りいただくか、ウェブサイト([www//smk.co.jp](http://www//smk.co.jp))から登録いただくことでも結構です。尚、購入から1年以内で未登録の場合は、前述のように領収書等のコピーを必ずお送りください。現品返送の際の送料はご購入者がご負担ください。修理完了品、代品については弊社の費用でお送りいたします。1度、代品交換もしくは修理した製品についての保証期間は、当初の保障期間の残日数もしくは修理、交換をした期日後90日間のどちらか長い日数を保障期間とします。

修理、交換の製品に関してご購入頂いた型式のものが既に生産中止になっていた場合等については同等品の上位機種をもって修理、交換とさせていただきます。

本保証に関して、間違った使用、操作方法、事故、不注意による落下、本マニュアルに記載方法以外の取扱方法、特殊な用途での使用、もしくは貼り付けてあるラベルをはがしたり、汚れて文字が判読できない場合等は保証対象外となります。これはアクセサリ部品、消耗品等についても同様です。

弊社は間接的に発生した偶発的な事象、過失を含む違法行為等の結果としての不利益等についてはいかなる場合も保証対象外とします。例えば間接的に発生した利益の損失、売上減、製品および関連する部品に対する操作能力の欠如、ユーザー以外の第三者によるクレーム、財産の損失等については保証対象外とします。保証の範囲はいかなる理由、場合においても本製品の購入金額以上は保証いたしません。本保証に記載の事項は個人の保有する法的な権利を損ねるものではありません。また書類をもって弊社と調印締結がなされていなくても相互の理解のもと、記載内容について個別に合意したものといたします。尚、故障品の送料はご購入者がご負担ください。修理完了品もしくは交換代品の送料は弊社の負担とします。

## 製品に関するお問合せ

製品に関するお問合せは下記へお願いいたします。

# SMK 株式会社

〒142-8511 東京都品川区戸越6-5-5

TEL: 03-3785-1237

<http://www.smk.co.jp>